

令和6年度 自己評価書

学校名	和歌山市立八幡台小学校
校長氏名	高石順弘
作成日	令和7年2月26日

1 教育目標

強く・正しく・美しい心を持つ子どもの育成

- 心身ともにたくましく、意欲を持って粘り強く考える子
- 豊かな心を持ち、思いやりのある子
- 正しい判断のもと自ら進んで実践する子

2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	○ICT機器活用率の向上 ○全国学力・学習状況調査及び県学習到達度調査結果の市平均レベルへの引き上げ	○「心のとびら」活用5実践以上 ○いじめの解消率100%	○朝ごはん実施率100% ○早起き(午前7時)実施率90%以上	○地域との交流事業3回 ○ホームページ随時更新 ○中学校との交流を行う
重点目標	○ICT機器を活用し、主体的に学習に取り組む子どもの育成 ○基礎・基本の定着 ○学習規律の定着	○道徳教育の充実、道徳的実践力の養成 ○いじめの未然防止、早期発見 ○人権意識の向上	○基本的生活習慣の確立 ○体力向上の推進 ○食育の推進	○家庭・地域との連携充実 ○中学校区における学校間連携の推進
取組の状況【D】	○ICT機器を積極活用し、主体的な学びを支える授業の質的向上に取り組んだ。 ○ICT機器の活用、放課後フォローアップ等、個別最適な指導を行った。	○道徳の教科書等を活用し、道徳的実践力の向上に取り組んだ。 ○よりよい仲間関係の構築を目指した学級経営を行った。	○「早寝、早起き、朝ごはん」を推奨し、保護者への啓発を行った。 ○子どもの生活状況を把握するとともに、保護者との連携協力を進めた。	○HPでの学校情報の発信を積極的に行った。 ○学校だより等を地域の支援者に配布した。 ○学校運営協議会の提言を教育活動に生かした。
取組の成果と課題(評価結果)【C】	○ICT機器活用、学び合いの授業等について、教員の理解が進んだと考える。 ○学びの質の高まりは各所で見られ、少しずつではあるが学力調査などの結果が向上してきた。	○道徳における授業力の向上を目指し子どもたちの心を磨くように心がけた。 ○必要に応じてクラスで子どもたちが話し合い、仲間意識を醸成するとともにクラス内のつながりを強くすることができた。	○「早寝、早起き、朝ごはん」をはじめとする基本的生活習慣の定着については一定の向上がみられた。 ○高学年で放課後運動する場を設定するなど、運動する機会の提供に努めた。	○HPの定期更新により、学校の様子を保護者に伝えることができた。 ○登下校の見守り活動を、地域の方との連携で年間通して行っていた。ただ、地域の方に支援していただけるよう、必要な情報を地域に伝えた。
改善方法【A】	○ICT機器を活用し、個別・最適な学習が実現できるよう、授業改善を進めていく。 ○積極的な授業公開を行い、個々の授業力の向上を図る。	○道徳の授業を柱とし、子どもたちの心を磨く機会を多くとっていく。 ○自分を大切にするとともに他の人も大切に、やさしさをもって接することができるよう、教職員から常に子どもたちに働きかける。	○生活リズムチェックを継続し、子どもの状況をしっかり把握することに努め、必要な指導・支援、保護者への啓発を行う。 ○「早寝、早起き、朝ごはん」運動の推奨を継続する。	○地域の方と学校の予定を共有し、支援していただきやすい環境とする。 ○HPの内容の充実を図り、継続的に発信をしていく。 ○地域の方が学校に来ていただきやすい環境整備を行う。

3 その他の課題

- 気持ちのよい挨拶ができるための環境整備。
- 保護者や地域とのよりよい関係性の構築。
- PTA活動の今後の方向性について、PTA本部役員の方々と検討。